

平成26年度学校評価概要

学校評議員会ならびに 学校関係者評価委員会

平成 27 年 2 月 10 日実施

◎成果を認める主な事項

- ・確かな学力の育成に向け、先生方が分かる楽しい授業づくりに努力している様子が参観授業を通じて伝わってくる。
- ・2年生で試行している手帳「明星 夢 DIARY」の成果が、次年度に全校に広げられることを大いに期待している。
- ・(特別支援教育に対する職員の自己評価が他の項目と比べ若干低いことに対して) 授業中、先生方が一人一人の生徒の様子をしっかりと把握し、それぞれの特性等に配慮した指導を行っているのをよく目にする。自己評価が低いのは、さらに充実させていきたいという先生方の意欲の表れと受け止めている。

○今後の課題となる主な内容

- ・キャリア教育について、学年によって取組に差があるように思う。以前にある学年で取り組んでいた職場体験学習は、生徒が社会を知り、自己の将来の目標を見いだすために大変有効であったと感じる。1年生では〇〇、2年生では△△など、取組に系統性をもたせ、さらにキャリア教育を推進させてほしい。

生徒アンケート

平成 26 年 12 月全校生徒を対象に実施

※設問に [A 充実 B ほぼ充実 C やや不足 D 不足] の 4 段階で回答

◎成果が見られる主な項目

- ・思いやりの心をもって物事に取り組んでいる・・・97%
- ・学校は集団や社会のルールを学ぶことができる・・・98%
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う・・・97%
- ・部活動は人間にとって大切なものを教えてくれる・・・94%

○今後の課題となる主な項目

- ・家で学校の予習や復習をしている・・・76%
- ・テストの結果や通知表の成績は自分で納得できる・・・72%

主な記述反省

- ・予習復習はやり続けなければ習慣にならない。家庭学習時間が足りない。
- ・自分の意見をもって積極的に発言する。
- ・睡眠不足で集中しきれないところがある。普段の生活を見なおしていきたい。
- ・「明星 夢 DIARY」を有効活用して計画的に時間をつくりたい。
- ・将来の夢をきちんと生活したい。
- ・LINE やメールと勉強の切り替えが前よりできなくなった。
- ・注意される前にお互いに声をかけて自主的に動けるようになるとよい。

教職員自己評価

平成 26 年 12 月全教員を対象に実施

～主な評価項目とその成果と課題～

○重点目標

- ・学ぶ喜びを実感させ、学習意欲の向上を図る教育活動の充実を図り、確かな学力の向上に努めている。
- ・自尊感情の高揚を図るとともに、自己の将来を展望し、実現に向けて意欲的に学び、努力しようとする姿勢の育成に努めている。

→成果と課題

確かな学力の向上に向け、テーマ「学びを楽しむ生徒の育成」のもと校内研究を推進し、全員が授業を公開し互いに助言し合うなど、わかる授業に努めた。

○生徒指導

- ・学校全体の秩序と安定を図るため、すき間のない指導体制と情報連携、行動連携に努めている。
- ・共感的理解を基盤にした心のふれあいを大切に、自己をよりよく導く力をはぐくむ指導の充実を努めている。

→成果と課題

休み時間や放課後も含め生徒と教師が触れ合う機会を重視し、すき間のない生徒指導を推進した。家庭や地域、校区小学校など、生徒指導の一層の充実に向けた連携が必要である。

○学習指導

- ・生徒の実態に即して、TTや少人数指導、補充学習などによる個に応じたきめ細かい指導の充実を努めている。
- ・確かな学力を育成するため、生徒に「わかる」「できる」を実感させ、問題解決的な学習や体験的な学習を重視した指導の充実を努めている。

→成果と課題

校内研究テーマに基づき、「わかる・できる」喜びを実感させる授業づくりに努めた。一人一人の学習状況に応じたきめ細かい指導を一層充実する必要がある。

○道徳指導

- ・道徳の時間を要として、ボランティア活動や豊かな体験活動に積極的に取り組み、道徳的実践力を高める指導に努めている。
- ・道徳推進教師を中心とした指導体制の充実とともに、学習形態の工夫・改善に努め、心に響く道徳の時間の実践に努めている。

→成果と課題

外部人材を講師として招き全校生徒への講話を設定するなど、道徳の時間の指導の充実を努めた。本校の特色ある体験活動との関連を図り、豊かな心を育成する指導を一層充実する必要がある。

○特別活動

- ・個と集団との関わりを学ばせ、望ましい集団の育成に努めるとともに、集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする実践的態度を育成している。
- ・リーダーの育成や話し合い活動の充実を図り、自主性や創造性をはぐくむとともに、個性の伸長を図る集団活動の充実を努めている。

→成果と課題

学校行事などを通じたリーダーの育成や話し合い活動の充実により、質の高い集団づくりに努めた。各教科の年間指導時数確保に向け、学校行事の見直しを図る必要がある。

保護者アンケート

行事終了ごとにアンケート形式で実施

◎成果を認める主な内容

- 校内陸上
- ・普段見ることができない表情を見ることができてよかった。
 - ・係の仕事を一生懸命やる姿、仲間を応援する姿がよかった。
- 参観日
- ・担任の先生を知るよい機会だった。
 - ・子ども同士がコミュニケーションを図りながら授業を進めていき、とても楽しそうだった。
 - ・楽しそうな姿はとても嬉しく思った。カードやテレビを使っの授業はよかった。
- 2年宿泊研修
- ・短い時間ではあったが、集団行動と責任を果たすということが養われたように思う。
 - ・専門学校での体験は、中学生ではなかなかできないことなので、将来の進路への参考にもなり、有意義であった。
 - ・先生方と班の仲間の協力のもと、研修での新たな体験を通し、少し成長したと感じた。
 - ・2日目は、1日目とは違うレクリエーション的なことがあったほうがよかったと感じた。
- 3年修学旅行
- ・友達と友情を深め、楽しく過ごせたことを嬉しく思う。
 - ・旅行代金の積み立てをしておいてよかったと思う。
 - ・親から離れて3泊するのは正直不安だったが、集団生活を経験し、実りあるものになった。

○今後の課題となる主な内容

- ・学年学級懇談に出席される人数が少ない。
- ・受検に向けての情報を積極的に示してもらえるとありがたい。

H27年度に向けた 改善の方策

○「わかる」「できる」を実感させる授業づくり

- ・日々の授業の一層の改善充実～これまでの研究の成果と課題の検証、校内研修のなご一層の充実
- ・数学科、英語科におけるチーム・ティーチング、少人数指導の一層の充実

○将来の夢や希望をもって意欲的に学習に取り組むキャリア教育の推進

- ・キャリア教育の一層の推進に向けた教育活動の見直し
- ・自己の生き方について考えさせる活動の充実
- ・各学年における発達段階に応じた上級学校や職場などでの体験学習などの充実
- ・外部講師等による職業講話などの実施
- ・体験活動、奉仕活動による地域の人々との交流を通じた地域社会への関心の促進

○基本的な生活習慣（学習習慣を含む）の確立

- ・「明星 夢 DIARY」による自己の生活の見直しや先を見通した計画的な学習の取組の促進、家庭との連携
- ・「明星中学校区小中連携教育推進会議」等による義務教育の9年間を見通した、生活習慣・学習習慣作りの推進